

会場のご案内と出欠についてのご連絡のお願い

2008年度の学術大会は、5月10日（土）・11日（日）の両日におたり、神戸大学六甲台キャンパス（〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1 神戸大学法学部・六甲台第2学舎）で開催されます。各分科会およびミニシンポジウム等の部屋割りは皆様の参加希望を踏まえて決定し、当日に会場をご案内いたします。同封の葉書にて、出欠のご連絡を頂きますようお願い申し上げます。

5月9日（金）午後の若手ワークショップの場所も、当日、開催校にてご案内いたします。

会場へのアクセス方法は、本冊子末尾の案内をご参照下さい。また、お問い合わせは、榎村志郎会員（email: skashimu@kobe-u.ac.jp）までお願いいたします。

懇親会のご案内

5月10日（土）18時30分より、懇親会が開催されます。会費は5,000円です。参加ご希望を同封の出欠連絡葉書にてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

会員総会のご案内

5月10日（土）13時10分より会員総会が開催されます。議事次第は以下の通りです。

1. 議長選出
2. 理事長挨拶
3. 開催校代表挨拶
4. 2007年度活動報告
5. 2007年度会計報告
6. 2008年度予算案の提案
7. 理事選挙結果報告および推薦理事・監事の提案
8. 学会奨励賞受賞者表彰式
9. 次期理事長挨拶
10. 学術会議に関する報告
11. その他

昼食のご案内

5月10日・11日の両日ともに、弁当（1,000円程度）を用意します。ご希望の方は、同封の出欠連絡葉書にてお申し込み下さい（なお、開催校周辺には飲食店はほとんど存在しません。また、開催校内の生協食堂は、10日の昼は営業いたしますが、11日は終日休業いたします）。

プログラム

5月9日(金) 13:30~17:45 若手ワークショップ

13:30-17:00 「若手研究者報告会」

17:15-17:45 「若手 WS 運営会議」

5月10日(土) 個別報告/ミニシンポジウム

	ミニシンポジウム①	ミニシンポジウム②	個別報告
9:30 ～ 12:30	<p>全国調査からみた民事訴訟制度：利用者と代理人の意思決定と評価(仮)</p> <p>守屋 明 神長百合子 和田 安弘 河合 幹雄 垣内 秀介 前田 智彦</p> <p>司会：太田 勝造 コーディネーター： ダニエル・フット</p>	<p>民事紛争における当事者ニーズ・法の非主題化</p> <p>尾崎 一郎 杉野 勇 南方 暁 上石 圭一 田巻 帝子</p> <p>司会・コーディネーター： 南方 暁</p>	<p>分科会A</p> <p>早瀬 利博 柏原 清江 小佐井良太 橋本 誠志</p> <p>司会：藤本 亮</p>
12:30 ～ 13:30	<p>昼食</p>		<p>ポスターセッション 佐藤 美和</p>
13:30 ～ 14:30	<p>総会</p>		
14:30 ～ 18:00	<p>ミニシンポジウム③</p> <p>地域社会におけるトラブルの当事者への助言提供の仕組みと助言探索行動</p> <p>佐藤 岩夫 菅野 昌史 武士俣 敦 阿部 昌樹</p> <p>司会・コーディネーター： 阿部 昌樹</p>	<p>ミニシンポジウム④</p> <p>法文化への学際的アプローチー比較法文化の構築に向けて</p> <p>角田 猛之 藺 巳晴 河村 有教 河野 良継 石田慎一郎 馬場 淳</p> <p>司会・コーディネーター： 角田 猛之</p>	<p>ミニシンポジウム⑤ (企画関連)</p> <p>弁護士研究のフロンティアー民事分野における依頼者・弁護士関係を中心にー</p> <p>浜辺陽一郎 飯 考行 大塚 浩 太田 勝造 石田 京子</p> <p>司会・コーディネーター： 宮澤 節生 コメンテーター： 森際 康友</p>

5月11日（日）午前：個別報告/ミニシンポジウム

午後：全体シンポジウム『民事司法過程の法社会学』

	ミニシンポジウム⑥ 実務法曹への交渉教育(仮)	ミニシンポジウム⑦ (企画関連) 法とのファースト・コンタクト	個別報告 分科会B
9:00 ~ 12:00	草野 芳郎 豊田 愛祥 鬼澤 友直 奥村 哲史 司会・太田 勝造 コーディネーター： 草野 芳郎 コメンテーター： 山田 文	木下麻奈子 仁木 恒夫 大澤 恒夫 司会：西田 英一 コメンテーター： 佐藤 彰一	藤本 亮 飯田 高 片野 洋平 山村 恒年 司会：樫澤 秀木
12:00 ~ 13:00	昼 食		ポスターセッション 小川 真理子
13:00 ~ 16:50	全体シンポジウム 『民事司法過程の法社会学』 濱野 亮 菅原 郁夫 村山 眞維 和田 仁孝 司会：吉田 克己、福井 康太 コメンテーター：加藤新太郎、川口 由彦		
16:50 ~ 17:00	理事長挨拶		

報 告 題 目

5月10日（土）個別報告／ミニシンポジウム

9:30～12:30

*** ミニシンポジウム①：全国調査からみた民事訴訟制度——利用者と代理人の意思決定と評価（仮）——**

司会：太田勝造（東京大学）、コーディネーター：ダニエル・フット

- (1) 守屋 明（関西学院大学）「訴訟利用の目的と和解の選択」
- (2) 神長百合子（専修大学）「民事訴訟のジェンダー分析について」
- (3) 和田安弘（大阪府立大学）「女性と民事訴訟：一般人調査から得られる知見」
- (4) 河合幹雄（桐蔭横浜大学）「実態調査からみた民事裁判利用者の法意識」
- (5) 垣内秀介（東京大学）「和解と当事者による訴訟手続の評価」
- (6) 前田智彦（名城大学）「インターネット調査に見る弁護士・裁判所利用」

*** ミニシンポジウム②：民事紛争における当事者ニーズ・法の非主題化**

司会・コーディネーター：南方 暁

- (1) 尾崎一郎（北海道大学）「民事紛争における非主題化要因」
- (2) 杉野 勇（お茶の水女子大学）「紛争の発生要因と展開パターン」
- (3) 南方 暁（新潟大学）「家族における紛争と法の非主題化」
- (4) 上石圭一（新潟大学）「利用する相談機関の種類と法の主題化／非主題化」
- (5) 田巻帝子（新潟大学）「自治体の提供する相談サービスと当事者ニーズ」

*** 個別報告分科会 A**

司会：藤本 亮

- (1) 早瀬利博（長崎大学）「環境影響評価における手続的正義と手続保障—上関原発建設予定地アセスの住民参加を事例として—」
- (2) 柏原清江（同志社大学）「『法的整理』及び『M&A』における企業再生状況について—アンケート調査を中心として企業再生の検証—」
- (3) 小佐井良太（愛媛大学）「『死別の悲しみ』を伴う紛争事例の解決と法の応答可能性—定期金賠償方式に基づく損害賠償の「命日払い」請求をめぐる—」
- (4) 橋本誠志（徳島文理大学）「個人データ流出をめぐる紛争と救済—デジタル化情報の伝播性と紛争解決制度基盤—」

12:30～13:30

昼 食 ： ポスターセッション

佐藤美和（お茶の水女子大学）「同性パートナーシップの法制化に関する考察—『承認の政治』を手がかりに—」

13:30～14:30

総 会

15:30~18:00

*** ミニシンポジウム③：地域社会におけるトラブルの当事者への助言提供の仕組みと助言探索行動**

司会・コーディネーター：阿部昌樹

- (1) 佐藤岩夫（東京大学）「地域の法律問題と司法アクセス」
- (2) 菅野昌史（いわき明星大学）「社会的ネットワークと問題解決過程」
- (3) 武士侯敦（福岡大学）「トラブル処理における弁護士への助言探索行動と弁護士評価」
- (4) 阿部昌樹（大阪市立大学）「私人間トラブルへの行政の対応」

*** ミニシンポジウム④：法文化への学際的アプローチ—比較法文化学の構築にむけて**

司会・コーディネーター：角田猛之（関西大学）

- (1) 藪 巳晴（株式会社ノルド社会環境研究所）「グローバルな状況下における法文化認識へ向けて—千葉正士と安田信之の法文化概念の接合の模索」
- (2) 河村有教（海上保安大学校）「自白をめぐる日本と中国の法文化—アジア法文化圏の比較の試み」
- (3) 河野良継（大東文化大学）「英国私法における reasonableness の思考—英国・『合理人』(the reasonable person) の法文化・試論」
- (4) 石田慎一郎（大阪大学）「法文化記述における二つの要請—Restatement of African Law から 40 年を経て」
- (5) 馬場 淳（日本学術振興会）「法文化の多様性と統合の間でたゆたうパプアニューギニア—客体化とポジショナリティの人類学的アプローチ」

*** ミニシンポジウム⑤（企画関連）：弁護士研究のフロンティア—民事分野における依頼者・弁護士関係を中心に—**

司会・コーディネーター：宮澤節生（青山学院大学）、コメンテーター：森際康友（名古屋大学）

- (1) 浜辺陽一郎（早稲田大学）「ビジネス・ローヤリングにおける依頼者・弁護士関係の実態と弁護士倫理」
- (2) 飯 考行（弘前大学）「弁護士過疎地の市民事件における依頼者・弁護士関係の実態と弁護士倫理」
- (3) 大塚 浩（奈良女子大学）「コーズローヤリングにおける依頼者・弁護士関係の実態と弁護士倫理」
- (4) 太田勝造（東京大学）「『法曹の質』の調査研究：法律相談者評価と弁護士自己評価・ピアレビュー(仮)」
- (5) 石田京子（早稲田大学）「弁護士倫理における依頼者・弁護士関係の日米比較」

5月11日（日）個別報告／ミニシンポジウム／全体シンポジウム

9:00~12:00

*** ミニシンポジウム⑥：実務法曹への交渉教育（仮）**

司会・太田勝造（東京大学）、コーディネーター：草野芳郎（学習院大学）

コメンテーター：山田文（京都大学）

- (1) 草野芳郎（学習院大学）「ロースクールにおける交渉教育の事例」
- (2) 豊田愛祥（弁護士）「『弁護士への交渉教育』について」
- (3) 鬼澤友直（裁判官）「裁判と交渉教育」
- (4) 奥村哲史（名古屋市長立大学）「経営学における交渉教育」

*** ミニシンポジウム⑦（企画関連）：法とのファースト・コンタクト**

司会：西田英一（甲南大学）、コメンテーター：佐藤彰一（法政大学）

- (1) 木下麻奈子（同志社大学）「人はいかに法と出会うか：規範の構造と伝達の観点から」
- (2) 仁木恒夫（大阪大学）「紛争当事者の弁護士とのファースト・コンタクトの一場面」
- (3) 大澤恒夫（桐蔭横浜大学）「人と法を結ぶもの—法専門家・非専門家の協働とプロセスの多様性」

*** 個別報告分科会B**

司会：樫沢秀木（佐賀大学）

- (1) 藤本 亮（静岡大学）「法知識と法のイメージ」
- (2) 飯田 高（成蹊大学）「『サンクションのない法律』の社会的インパクト—若干の理論的考察」
- (3) 片野洋平（早稲田大学）「未成熟市場における法の役割：容器リサイクル法等環境関連法をめぐる議論を題材に」
- (4) 山村恒年（弁護士）「法規範としての目的合理性と社会的正義」

12:20～13:10

昼 食 ： ポスターセッション

小川真理子（お茶の水女子大学）「日本におけるドメスティック・バイオレンス被害者支援を行う民間シェルターと公共性」

13:10～16:50

*** 全体シンポジウム：『民事司法過程の法社会学』**

司会：吉田克己（北海道大学）、福井康太（大阪大学）

コメンテーター：加藤新太郎（裁判官）、川口由彦（法政大学）

- (1) 濱野 亮（立教大学）「民事司法過程の法社会学—企画趣旨説明」
- (2) 菅原郁夫（名古屋大学）「『民事訴訟利用者調査』とその継続調査—政策へのフィードバックを中心に」
- (3) 村山眞維（明治大学）「法化社会における紛争処理と民事司法—国際比較を交えて」
- (4) 和田仁孝（早稲田大学）「専門性の交錯と裁判の正当性—医療事故訴訟を素材に」

16:50～17:00

理事長挨拶